

第21回

地震に備える ～家具の転倒防止法～

家具を固定する

さらに、安全な部屋にするためには、家具を固定することも重要になります。

種類としては、次のような器具があります。これらの器具はホームセンターなどで手に入りますので、ご自宅に合った器具を選んで、家具を固定しましょう。

◇L型器具・家具と壁を直接ネジで固定するもので、最も効果の高い方法といわれています。

◇ベルト式器具・チェーン式器具・横木などに、金具や付属のフックを使って、

家具を固定する方法です。冷蔵庫などの固定に効果的です。

◇ポール式器具・家具と

天井の隙間に設置して固定する器具です。ストッパー式器具やマット式器具と併用すると効果が高くなります。

◇ストッパー式器具・マット式器具
…家具の下に設置し家具が壁から離れないようにするための器具です。大きな家具の場合、ポール式器具等と併用してください。

阪神・淡路大震災では、ケガをした人の半数近くが家具の転倒・落下によるものとされています。

地震が起きたときに、家具が倒れて下敷きになったり、家から脱出できなくなることを防ぐため、次のような方法があります。日頃から地震に備えましょう。

家具の配置を考える

安全な部屋にするためには、まず家具の配置を見直すことです。次のことに気を付けることで、部屋の危険が少なくなります。

- ◇ドア付近や廊下など避難の妨げとなる場所には家具を置かない。
- ◇寝る位置に家具が倒れてこないように家具の向きなどを工夫する。
- ◇家具の上に花瓶など、落下すると危険なものを置かない。
- ◇棚などは重いものを下の方に収納し、倒れにくくする。



ストッパー式器具(左上)、ベルト式器具(左下)、ポール式器具(右)